

## 膠原病内科

### 1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 月曜火曜 AB棟5階カンファレンスルーム  
水～金曜 AB棟4階カンファレンスルーム

### 2 実習概要 (実習内容)

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。担当教官と学生1対1～2名で、担当教官と共に病棟、外来を受け持つ。

入院時の検査、治療計画、治療中のマネージメントなどを主治医と相談しながら行うことで実践的な臨床の力を身につける。また回診カンファレンスでは受持患者さんの紹介を行い、病歴や検査所見などをまとめて、発表する能力を身につける。入院患者のプロブレムをみることで、膠原病だけでなく、糖・脂質・骨代謝、感染症、全身臓器の評価を行い総合内科的な見方も養う。毎日カルテに患者の状態、問題点、評価、計画を記入し、病態の把握と問題解決能力を身につける。

担当教官の外来と一緒に患者を診て、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

### 3 GIO(一般目標)

膠原病および膠原病類縁疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療法、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。また、免疫抑制状態にある患者で注意すべきこと、合併症などを通じて内科学全般の学習をする。

### 4 SBO(行動目標)

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までを考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 救急患者さんに対して基本的なプライマリーケアができる。
- (3) 症例に関連した文献検索法を習得し、英語文献の読解力を向上させる。
- (4) メディカルインタビュー、基本的診察法を身につける。
- (5) 難病患者さんの立場に立った医師の役割を述べる。
- (6) 患者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (7) 看護師、薬剤師、検査技師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。
- (8) 5年生に分かりやすく教えることで、自身の勉強とする。

## 5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	12:30	13:30
月	近藤／森山	カンファレンス病棟実習		病棟実習
火	森山／本田	カンファレンス病棟実習		病棟実習
水	村川	カンファレンス回診		抄読会
木	近藤	カンファレンス外来 (抄読会)		5年生にレクチャー (実習中1回)
金	村川	カンファレンス		外来／病棟実習

8:30 に病棟にて担当教員にその日のスケジュールを確認してください。

4週間のうち1回 テーマを決めて、5年生にレクチャーをする。

4週間のうち1回水曜日の抄読会で英文論文を紹介する。

## 6 評価法

担当症例の発表検討会における発表や質問  
実習態度

## 7 その他注意事項等

服装, マナーに注意  
プライバシーの厳守  
ネームプレートの着用  
聴診器持参